

各事業年度評価と中期目標期間評価について(考え方)

平成 23 年度評価委員会での委員意見

○長期的視点項目に対する各事業年度評価の方法に関する主な委員意見

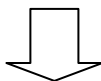
《長期的視点の評価を必要とする意見》

- ・長期的視点で見る項目、例えば安定した経営基盤の確立やガバナンスの確立ということを、単年度で評価することは非常に難しい。
- ・「安定した経営基盤の確立」という項目自体が単年度で評価になじまない。ある程度長期的な観点を入れた項目である。

《短期的(各年度)の評価とする意見》

- ・単年度評価は、各年度のプラスになった部分、成果が上がった部分ということに視点を置く。
- ・(単年度評価は) その年度ということに絞った評価である。
- ・(単年度評価は) 年度年度の評価で「5」になったり、「3」になったりするが、トータルでは中期的に「4」になったりするものである。
- ・外的環境・外的変数の部分がある。単年度で評価する以上は、あまり中期的な定着ということを意識する必要は無いのではないか。
- ・単年度は単年度で、それは変動しても構わない。中期的な変動は、別途考慮すればいい。

- ・経営基盤の確立とガバナンスの確立は基本的には表裏一体である。
- ・「ガバナンス」というような項目を中期目標に書かれてある2～3行のような言葉で表現していくことが今後の検討課題。



それぞれの評価の考え方(案)

○ 各事業年度評価 ⇒ 年度評価実施要領(改正案)

- ・経営基盤の確立等の長期的な項目についての単年度評価は、長期的な項目の達成(例えば経営基盤の確立) に貢献したという観点で、その年度に絞った評価を行う。
- ・小項目は複数関連する項目があっても、独立して評価し、関連した評価は大項目評価で行う。

○ 中期目標期間評価 ⇒ 中期目標期間評価実施要領(案)

- ・とくに、長期的な観点が必要な項目については、単に年度評価の結果にとらわれることなく、中期目標期間全体での達成状況を考慮して評価を行う。
- ・中期目標期間評価にあたっては、各年度の実績数値の推移も考慮するとともに、複数関連する項目についてはその関連性にも考慮し、総合的に評価する。